

年賀状の歴史

私たちは日本の正月の風物詩ともいえる年賀状についてよく知りません。
今回は年賀状の歴史について調べてみました。

★年賀状の始まり

実はおよそ1000年前の平安時代から存在していました。

この当時、貴族は毎年、自分の知り合いの所に挨拶に出かけ、新しい1年の付き合いをお願いするための年始回りという習慣がありました。

しかし、遠方の知り合いには直接の挨拶に時間がかかるという問題がありました。

そこで、遠方の知り合いには直接出向く代わりに、挨拶状を送ることで年始回りの代わりとしていました。

この習慣が年賀状の原型とされていますが、当時の年賀状はあくまで貴族の習慣であり、一般庶民には普及していませんでした。

★江戸時代

戦国時代の頃には書状による年始回りの習慣は武士にも広まっていました。

その後、戦乱の世が終わり、五街道や飛脚制度が整備されたことで、円滑に書状のやりとりができるようになったと考えられています。

それに伴って武士たちの間だけでなく庶民の間でも年始の書状のやりとりが行われるようになりました。

★郵便制度の誕生

明治時代の近代化の中でイギリスを視察した前田密という人物が郵便制度を創設しました。

そこで登場したのが「はがき」です。

はがきの登場により、年始の挨拶をする人が急増したため1886年頃には年始の時期の業務が滞ったり、年賀状の到着が遅れたりするような状況になりました。

そこで、1899年に指定郵便局に持ち込んだ年賀状を通常の郵便とは違う枠で扱うという年賀郵便制度が導入されました。

1905年になると全国のすべての郵便局で年賀郵便制度が適用されるようになりました。

現在に至るまでにお年玉付き年賀状や郵便番号の導入などいろいろな変動はありますが、これが今に続いている年賀状の歴史です。

★まとめ

最近ではメールやSNSの普及により年賀状は減少しています。

お正月に年賀状を見るわくわく感などメールやSNSとはまた違った嬉しさがあるはずです。

長い歴史のある年賀状をこれからも残していけたらいいですね。